

Scoop

2005年 9月

ちょヴィッツ

トヨタ

ついにトヨタが本腰を入れた軽自動車つぶし
全長2.8mの“ちょヴィッツ”08年デビュー 2010年には7人乗りロングも追加発売

[↑ zoom](#)

パッケージング開発とデザイン検討が進んでいる“ちょヴィッツ”は08年に市販化される。イラストのような傾斜したクォーターピラーも案のひとつとして持ち上がっている。

トヨタがパッソの下に位置するマイクロカーの開発に乗り出した。本誌6月号で第一報をお届けした“ちょヴィッツ”はその後、先行開発プロジェクトから正式プロジェクトに昇格し、将来的には市販車として売り出されることが決定した。折しもフランクフルトショーで現地の最小トヨタ車アイゴより小さいマイクロカー「エンド」が公開されたばかりで、間違いなく同プロジェクトが存在することが暗示された。

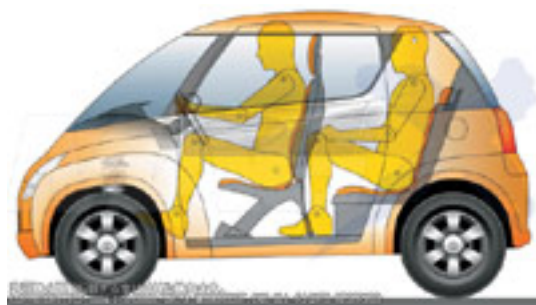
スクープ班が調べたところ、想定されているボディサイズは2850mm×1690mm×1500mm。また、エンジンにはパッソやアイゴ、ヴィッツと同じ1リットル直3が流用され、国内向けにはCVTが、ヨーロッパ向けには5速MTおよび2ペダル（クラッチレス）MTが組み合わされる。さらに、低燃費を実現するエコ・モデルとして1.4リットルディーゼルターボも設定。仕向け地と搭載エンジン別の月販目標台数は左ページの別表にまとめたとおりで、今後メーカー別の平均燃費が規制されるヨーロッパがメイン市場に据えられる。現地ではスマート・フォーツーが属すAセグメントに分類される見通しだ。

一方、国内ではパッソを下回るコンピューターとして投入されるものの、登録区分上は黄色ナンバーの軽自動車ではなく、小型車に分類される。グループ会社にダイハツを持ち、同市場で大きな発言力を有するスズキが幅を利かせている以上、さすがのトヨタも軽自動車マーケットに易々と参入するのは難しいのだろう。ただ、昔からの名残で税制面で大きく優遇され

ている軽自動車は、トヨタにとって「目の上のタンコブ」。さすがに税制面では勝ち目がないものの、広いトレッドによる安定感と安心感、短い全長による軽自動車顔負けの取り回しの良さがアピールされて軽自動車つぶしに乗り出すことは確実だろう。発表時期は08年秋が予定されている。

ニュースはまだある。なんと同車のロング版も遅れて登場するのだ。ホイールベースとリアオーバーハング伸ばされて全長は3795mmに到達。そして驚いたことに、国内向けには3列シートが装備されて7人乗車が実現するという（ヨーロッパ向けは2列シート5人乗り）。まるでシエンタ（全長4100mm）の弟分のような存在だ。フル乗車時を考えてロング版のガソリン・エンジンには1.3リットル直4がおごられ、いまだトヨタでは実用化されていないe-4WDも設定。さらに、モデルライフ後半には1.5リットル直4モデルが追加される計画も早くも持ち上がっている。

ひとまず「エンド」でプロジェクトの存在が暗示された“ちょヴィッツ”を、本誌スクープ班は今後もマークし続ける。続報に乞うご期待！



[↑ zoom](#)

内外装デザインの開発と並行してパッケージング検討も進行中。短いキャビンの中に4名分のシートを配することは、そう簡単にはいかないだろう。開発陣の腕の見せどころ。

■トヨタ“ちょヴィッツ”の仕様別月販目標台数（編集部予想）

ホイールベース	駆動方式	搭載エンジン	トランスミッション	仕向け地	
				国内	欧州
ショート	FF	1.7ℓ直3 ガソリン	5速MT		5000
			2ペダルMT		880
			CVT	900	
	FF	1.4ℓ直4 ディーゼルターボ	5速MT		2200
			2ペダルMT		380
ロング	FF	1.3ℓ直4 ガソリン	5速MT		1800
			2ペダルMT		300
			CVT	6300	
	FF	1.4ℓ直4 ディーゼルターボ	5速MT		800
			2ペダルMT		100
	e-4WD	1.3ℓ直4ガソリン	CVT	700	

単位:台

■トヨタ“ちょヴィッツ”の主要スペック（編集部予想）

		ショート	ロング
全長	(mm)	2850	3795
全幅	(mm)	1690	←
全高	(mm)	1500	1550
ホイールベース	(mm)	2000	2665
トレッド・前	(mm)	1475	←
トレッド・後	(mm)	1460	←
車両重量	(kg)	665～725	1015～1075
最小回転半径	(m)	3.9	4.8
乗用定員		4名	7名(国内)／5名(欧州)
サスペンション・前		ストラット式	←
サスペンション・後		トーションビーム式	←
タイヤサイズ		175/60R16	195/55R16
0→100 /h加速タイム	(秒)	9.0～13.2	10.5～12.0



[↑ zoom](#)



[↑ zoom](#)

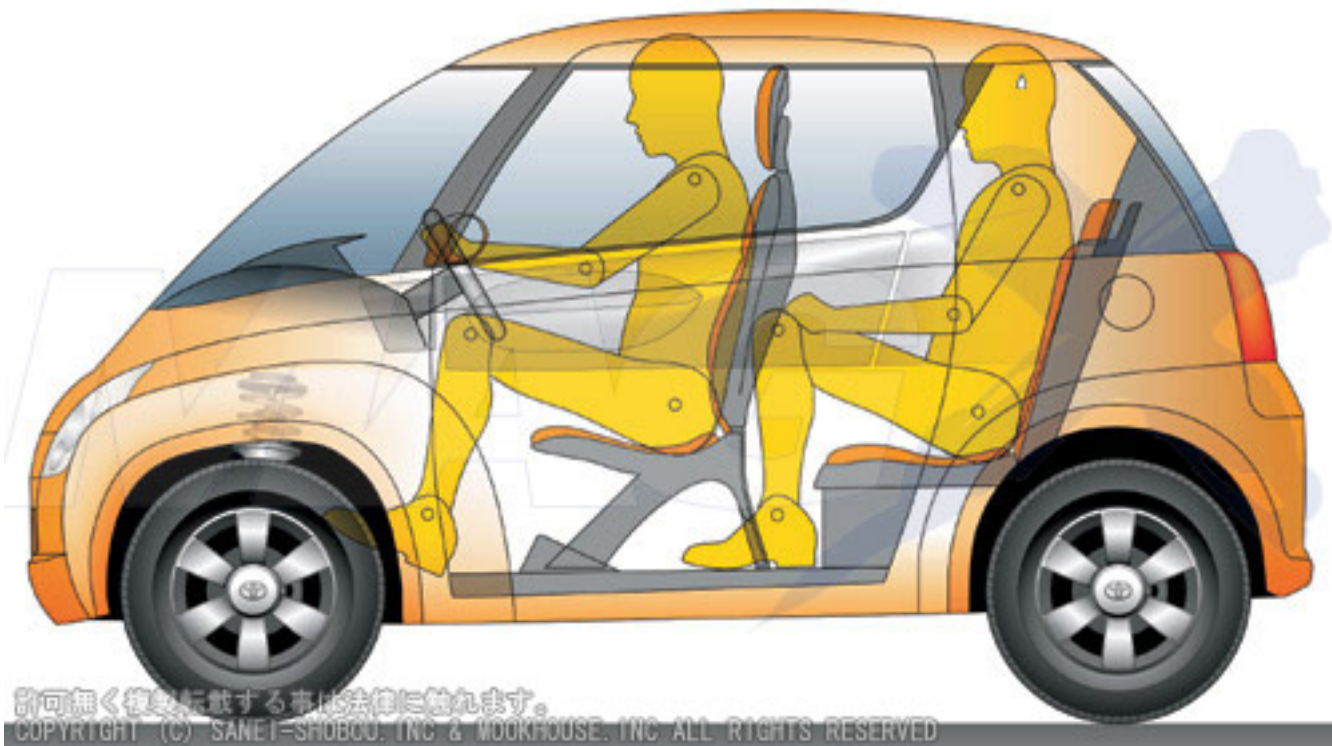
● エンド

フランクフルトショーに出品された“ちょヴィッツ”のコンセプト版。トヨタがマイクロカーの開発に取り組んでいることを暗示する役割を担っていた。

はみ出し情報

トヨタは東京モーターショーでi-unitの進化版を出展する模様。上に掲載したエンド（フランクフルトショー出品車）と並んで“ちょヴィッツ”の開発を暗示するのが目的か。







許可無く複製転載する事は法に反します。
COPYRIGHT (C) SANEI-SHOBOU, INC & WOODHOUSE, INC ALL RIGHTS RESERVED

